|  |
| --- |
| オリエンテーション |

対象 ３年から6年

所要時間 15（＊部分追加の場合は3０）分

目的・ねらい

* 学校図書館の利用方法を再確認する
* 学校司書の役割を再確認する
* 学校図書館の本の分類への理解を深める

オリエンテーションで伝える必須項目

□学校図書館のルール

□学校図書館のマナー

□本の分類

必要なもの

□背ラベル案内用の本を１冊

□＊0-9までの数字を書いたカードを用意（机の数と先生分）

□＊分類あて用の本を2-3冊

□＊分類をかくすためのテープ（布テープ・ビニールテープなど透けないもの）

□＊タイマー（PCでの表示も可）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 時間（分） | 項目 | 学校司書の説明 | 児童生徒・教員の動き | 留意点 |
| ２分 | 挨拶 | こんにちは。私は学校司書の○○です。毎週〇曜日に、○○小学校図書館で、みなさんが本を探したり借りたりするお手伝いをします。読み聞かせや本の紹介、本を使ったゲームなどをすることもあります。「はらぺこあおむしはどこですか」「野球の本が読みたいです」など、本のこと、学校図書館のことは何でも聞いてください。 | 担任の指示で着席する。 | 座席を決めてもらうことやゲームをする場合は事前に担任へ伝えておく。 |
| ３分 | 学校図書館のマナー | まず、学校図書館での３つの約束について、おさらいをしておきましょう。一つめ。学校図書館の中で過ごすときに大事なこと、それは静かにする、ということです。二つめは、本の扱い方についてです。この学校図書館にある本は、この小学校に通う子どもや先生たち全員のものです。本は大切に扱わないといけません。らくがきしたり、ぬらしたり、乱暴に扱ったりしないようにしましょう。三つめ、読んだ本を戻すとき…適当なところに戻しても良いでしょうか?適当なところに戻してしまうと、他の人が正しい場所を探しても見つからないことがあるので、あるべき場所に本を戻すのが大切です。そのためには、本のどこを見ると良いでしょうか?そう、本の背ラベル、この番号を見ます。本棚にも番号が表示されていますね。仲間のいるところに戻してあげましょう。図書館での３つの約束「静かにする・本を大切にする・本の背ラベルを見て棚に戻す」を覚えておいてくださいね。 |  | マナーはゆっくりと伝えるようにする。背ラベルの説明のために一冊本を用意しておく。館内の棚の分類サインを指差しながら話す。 |
| ８分 | 本の分類 | さて、ここからは3年生以上の皆さんへ、本の並べ方についてもう少し細かくお話をします。図書館ではたくさんの本を、あるルールで並べています。このルールの名前を「日本十進分類法（にほんじっしんぶんるいほう）」といいます。書いてある内容によって大きく０類から９類までの１０の仲間に分けられています。虫の本であれば４類、スポーツの本であれば７類というように、本の内容によって分類の数字が決められています。先ほど、本の背ラベルについて話をしましたが、この背ラベルの数字は、本の場所を表す住所としての数字です。分類記号といいます。本を探す時に、読みたい内容から分類記号がわかると見つけやすくなりますね。それぞれの分類にどんな本があるのかを話します。０の棚には、本やコンピューターなど情報についての本があります。１の棚には、心についての本があります。神さまや占いの本もあります。２の棚には、歴史と地理、つまり昔のことや日本や世界のことが分かる本があります。国旗の本や伝記の本もあります。３の棚には、仕事や社会についての本があります。４の棚には、算数の本があります。動物や植物、恐竜や宇宙の本など理科の本もあります。５の棚には、ものづくりの本があります。手芸や料理の本もあります。６の棚には、ペットや鉄道の本があります。７の棚には、スポーツ、音楽、図工の本があります。折り紙や工作の本もあります。８の棚には、言葉の本があります。辞書や英語の本もあります。９の棚には、お話の本があります。お話の本は、書いた人の名前のあいうえお順に並んでいます。絵本は、題名のあいうえお順に並んでいます。今日お話しした本の分類方法は、学校以外の図書館で本を探す時にも使えるので、覚えておきましょう。 |  | 国語教科書に日本十進分類の記述がある場合は見せながら話しても良い。学年により分類の説明ポイントが変わるので、大阪市立図書館「学校司書のページ」の〈オリエンテーション〉を参照する。可能なら学校司書が分類の棚をまわりながら説明する。 |
| ＊３分 | ゲームの説明 | 分類について学んだので、今からみんなでゲームをしましょう。これから机一つをチームとして、本の分類あてゲームをします。分類記号のカードをチームごとに用意していますので、説明が終わったら、誰か一人取りに来て、番号のカードを机の上に広げてください。先生にもゲームに参加してもらいます。ゲームは立って始めます。私が本の表紙を見せるので、各自１分間、その本がどの分類なのかを考えてください。ヒントは、周りの本棚や、分類についての掲示です。シンキングタイム１分が終わったら、担任の先生の掛け声に合わせて、番号を指さしてください。全員同じ番号を指さしたチームは着席します。立っているチームは３０秒相談してください。担任の先生の掛け声で再び番号を指さします。全部のチームが着席したら、チーム代表が先生のかけ声に合わせて、選んだ分類の数字カードを上げてください。この時先生にも、答えだと思う数字カードを上げてもらいます。最後に私が正解を発表します。 |  | 机１セット＋先生用に０～９の番号の書かれたカードを用意する。番号のカードが０から９まであることを扇状に開いて見せると良い。タイマーを準備する。背ラベルの説明に使った本を例に説明する。 |
| ＊８～12分 |  | さあやってみましょう。各チームから一人、番号カードを取りに来てください。 |  | ２，３回ほどゲーム実施。 |
| ２分 | 学校図書館のルール  | さて、最後に貸し出しルールと、本の扱いについてお話します。学校図書館が開いているのは、「○○（いつ）。」１人〇冊、〇週間借りられます。返却期限をきちんと守りましょう。本の扱いについて。本を棚から取り出す時に背の上の部分に指をかけないこと、読んでいる途中の本をふせないようにすることに気を付けてくださいね。もし破れている本やページの取れかけている本を見つけたら、セロテープなどで直さずに、先生か学校司書に渡してください。 |  | 学校図書館開放や貸出返却のタイミング、その他子どもたちに伝えるルールについて、学校によって違うので確認しておく。 |
|  |  | これで学校図書館オリエンテーションを終わります。 |  |  |